

## 年初に思うこと

●基幹労連・事務局長

ご安全に

基幹労連の挨拶は「ご安全に」、これは働く仲間の安全を思いやる気持ちと自らの誓いでもあります。2025年が皆様にとって安全で穏やかな実り多き年となりますことをご祈念申し上げます。

### ～取り巻く環境～

海外経済は、長期化するロシアによるウクライナ侵攻や、それにとまなうエネルギー・物価の高騰、その引き締めに向けた金融政策、中国における不動産市況の停滞の継続、さらには新たな地政学リスクの顕在化などにより、依然として先行きの不透明感が継続しています。

日本経済については、実質GDP（速報値）は2四半期連続のプラスとなるものの、消費マインドの改善は足踏み状態であり、GDPの半分以上を占める個人消費の状況は厳しい実態にあります。また、実質賃金は、9月速報でマイナスとなり、一旦はプラスに転じたが、再びマイナス圏へと突入しています。物価の高騰や円安傾向は改善されず、企業活動のみならず私たち働く者・生活者にも大きな影響を与えています。

### ～AP25春季取り組み～

#### 団結！継続！「人への投資」で好循環

いよいよ春闘（基幹労連では「春季取り組み」と言います）が始まります。

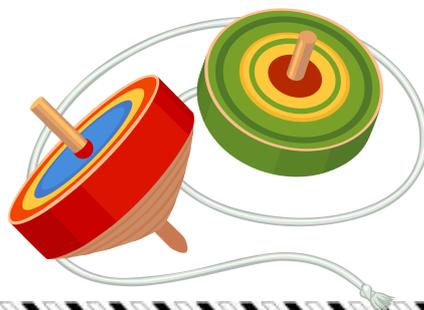
基幹労連は、2年を一つのパッケージとして取り組みを進めており、AP24春季取り組みは、労働条件全般の改善に取り組む「総

合改善年度」として取り組みました。その上で、賃金改善については、急激に変動している国際情勢に加え、国内の経済状況、物価や企業動向を見通すことが困難として、2024年度のみを要求としました。結果、基幹労連として過去最高の平均獲得額となりました。一方、規模別で比較すると規模が大きいほど獲得額の水準が高くなっており、規模間格差が引き続きの課題となる結果となりました。

今年は、年間一時金、格差改善を中心に取り組む「個別改善年度」となりますが、賃金改善についても、2024年度のみを要求としたことをふまえて取り組みを進めます。

労働力人口が減少するなか、全産業において人材不足となっており、人材獲得競争は熾烈を極めています。高技能・長期能力蓄積型産業である基幹産業にとって、将来にわたる優秀な人材の確保と定着は、産業・企業の発展と現場力の維持・強化の観点から重要な課題です。基幹産業で働く者が希望と誇りをもって「働きたい・働き続けたい」と思ってもらうためにも、それにふさわしい労働環境や労働条件の構築が不可欠であります。

取り組みの基本は、「魅力ある労働条件づくり」と「産業・企業の競争力強化」の好循環の創造、加えて、日本経済の好循環を実現するためには、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配や適切な価格転嫁、働く者全ての労働条件の底上げ、「人への投資」に継続して取り組むことが不可欠です。そして、政策・制度実現をはかり、将来不安を解消することで、日本全体の消費を喚起しなければなりません。



AP25春季取り組みの成功に向け、相乗効果が発揮できるよう、基幹労連加盟組合全体が連携を密にした取り組みを展開していきます。

#### ～政策実現に向けて～

私たちの基本理念は「魅力ある労働条件づくり」と「産業・企業の競争力強化」の好循環の創造です。働く私たちの生活の安心・安定には、産業・企業の発展は不可欠であり、生活に直接かわりのある課題を解決し、安心して暮らせる社会をつくることが求められています。産業政策・政策制度の課題は、労使の枠組みを超えた課題でもあることから、政治のプロセスを通じた課題解決が不可欠であり、産業別労働組合に求められる重要な活動の一つです。

基幹労連は、組織内議員「村田きょうこ」参議院議員をはじめ、ものづくり産業の重要性と私たちの求める政策について理解いただいている国会議員の方々の協力を得て、大臣要請や関係省庁の実務担当者との意見交換を行っています。

第27回参議院議員選挙において、基幹労連としてはJAMさんが擁立する候補予定者「郡山りょう」氏を基幹労連自らの候補予定者との位置付けで、政策実現活動を展開しています。労働政策の改善とあわせて「組合員

とその家族の幸せ追求」に向けて全力で取り組む決意であります。

#### ～結びに～

私たちの挨拶「ご安全に」の安全についてです。基幹労連は、2003年9月に統合・結成し22年目を迎えています。結成当時の安全成績は年間30人前後の死亡災害が発生していました。その後、各組合・各労使の懸命な取り組みもあり、減少傾向となってきました。それでも2023年は10件で10人の尊い仲間の命を失っています。死亡災害の撲滅に向けて、各種取り組みを推進してきましたが、2024年は13件で16人（12月6日現在）もの尊い仲間の命を失っています。

私たちの運動・取り組みの中心は「人」です。その中心である「人」を失えば、私たちの運動は成り立ちません。これからも運動の中心は「人」です。「働く仲間の安全と健康」です。皆で知恵を出し安全衛生の取り組みを進めてまいりますし、産別のみならず、加盟組合・構成組織・単組・支部、そして一人ひとりの安全衛生の取り組み・安全衛生の意識も重要です。

こうした安全と健康ベースに各種活動を展開し、基幹労連運動を前に進めてまいりますし、加盟組合皆さんの思いに応え、そしてお役に立てるように精進してまいります。

あらためて統合・結成の際に作られた基幹  
労連のロゴは、「地球規模の視野を持ち、連  
帯・創造・向上を旨とする」ものです。これ  
からも厳しい時代、先の見通せない状況が続  
くかもしれませんが、先達の思いをしっかりと  
継承し、「頼れる産別・誇れる産別」にし  
ていければと思います。

毎年、年初に思う「初心忘るべからず」で  
活動してまいります。共に頑張りましょう。

ご安全に